

平成25年度 第3回 日本海海況予報

－ 別表の水産関係機関が検討し独立行政法人水産総合研究センター
日本海区水産研究所がとりまとめた結果 －

今後の見通し(平成25年10月～12月)のポイント

- ・ 対馬暖流域の表面水温は、“やや高め”で経過する。
- ・ 対馬暖流域の50m深水温は、日本海西部及び北部とも“やや高め”で経過する。



2013年10月～12月の海況

- 能登半島北西の暖水域は、東部が分離し北東に移動して佐渡島北方に分布する。
- 能登半島北西の暖水域の西部と隠岐諸島東方の暖水域は、合体して能登半島北西に大型暖水域を形成する。
- 佐渡島南方、佐渡島北方、艫作崎沖の暖水域は、弱体化しながら北東に移動し消滅する。
- 鬱陵島東方に新たな暖水域が形成される。
- 島根沖の冷水域の張り出しは、平年並み。
- 山陰・若狭沖の冷水域の張り出しは、かなり弱め。
- 佐渡島沖、入道埼沖の冷水域の張り出しは、平年並みで経過する。

問い合わせ先

独立行政法人水産総合研究センター 日本海区水産研究所 業務推進部

担当：関根、檜山

電話：025-228-0451、ファックス：025-224-0950

当資料のホームページ掲載先URL

<http://abchan.job.affrc.go.jp/>

<http://jsnfri.fra.affrc.go.jp/>

平成25年度 第3回 日本海海況予報

1. 今後の見通し（2013年10月～12月）

- (1) 能登半島北西の暖水域は、東部が分離し北東に移動して佐渡島北方に分布する。能登半島北西の暖水域の西部と隠岐諸島東方の暖水域は、合体して能登半島北西に大型暖水域を形成する。佐渡島南方、佐渡島北方、艫作崎沖の暖水域は、弱体化しながら北東に移動し消滅する。鬱陵島東方に新たな暖水域が形成される。
- (2) 島根沖の冷水域の張り出しは、平年並み。山陰・若狭沖の冷水域の張り出しは、かなり弱め。佐渡島沖、入道埼沖の冷水域の張り出しは、平年並みで経過する。
- (3) 対馬暖流域の表面水温は、“やや高め”で経過する。
- (4) 対馬暖流域の50m深水温は、日本海西部及び北部とも“やや高め”で経過する。

2. 経過（2013年6月～8月）

- (1) 6月に隠岐諸島東方にみられた暖水域は、北東に移動して8月には能登半島北西に分布。6月に隠岐諸島北方にみられた暖水域は、7月に消滅。6月に能登半島北西にみられた暖水域は、北東に移動して8月には能登半島北北東に分布。6月に能登半島東方にみられた暖水域は、ほぼ停滞。6月に佐渡島～男鹿半島にみられた暖水域は、弱体化しながら北方に移動し8月には津軽半島西方に分布。8月に隠岐諸島東方で暖水域が新たに形成。
- (2) 島根沖の冷水域は、6月はかなり大きく接岸状況は平年並み、7・8月は規模は平年並みでやや接岸。山陰・若狭沖の冷水域は、6月はかなり小さくはなはだ離岸、7月はかなり小さくやや離岸、8月はかなり小さくはなはだ離岸。佐渡島沖の冷水域は、6月は規模・接岸状況とも平年並み、7月は規模は平年並みでやや接岸、8月は規模は平年並みでかなり接岸。入道埼沖の冷水域は、6月は規模は平年並みでやや離岸、7月はやや小さくやや離岸、8月は規模は平年並みでやや離岸。
- (3) 対馬暖流域の表面水温
6月は、秋田県以南の本州沿岸では山口県沖、隠岐諸島東方、富山湾～男鹿半島南方で“かなり高め”～“はなはだ高め”以外は概ね“平年並み”～“やや高め”。青森県以北の沿岸では概ね“平年並み”～“やや低め”。7月は、本州沿岸域を中心に概ね“かなり高め”～“はなはだ高め”。8月は、欠測域が多いものの、本州沿岸では概ね“平年並み”～“やや高め”、北海道沿岸では“やや高め”～“はなはだ高め”。
- (4) 対馬暖流域の50m深水温は、6月は日本海西部・北部ともに“平年並み”。

3. 現況（2013年9月）

- (1) 暖水域は、隠岐諸島東方、能登半島北西、佐渡島南方、佐渡島北方、艫作崎沖に分布。
- (2) 島根沖の冷水域は、規模は平年並みでやや離岸。山陰・若狭沖の冷水域は、かなり小さくやや離岸。佐渡島沖の冷水域は、規模・接岸状況ともに平年並み。入道埼沖の冷水域は、規模は平年並みでやや離岸。
- (3) 対馬暖流域の表面水温は、島根半島から能登半島では“かなり高め”～“はなはだ高め”、富山湾から男鹿半島では“やや高め”～“かなり高め”以外は概ね“平年並み”～“やや高め”。
- (4) 対馬暖流域の50m深水温は、日本海西部・北部ともに“やや高め”。

(註) 引用符(“ ”)で囲んで表した、平年比較の水温の高低の程度は以下のとおり

- | | |
|--------------|--------------------------------|
| “はなはだ高め(低め)” | : 約20年以上に1回の出現確率である2℃程度の高さ(低さ) |
| “かなり高め(低め)” | : 約10年に1回の出現確率である1.5℃程度の高さ(低さ) |
| “やや高め(低め)” | : 約4年に1回の出現確率である1℃程度の高さ(低さ) |
| “平年並み” | : 約2年に1回の出現確率で、平年値±0.5℃程度の水温 |

参 画 機 関

地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 水産研究本部 中央水産試験場	福井県水産試験場
地方独立行政法人 青森県産業技術センター 水産総合研究所	京都府農林水産技術センター 海洋センター
秋田県水産振興センター	兵庫県立農林水産技術総合センター 但馬水産技術センター
山形県水産試験場	鳥取県水産試験場
新潟県水産海洋研究所	島根県水産技術センター
富山県農林水産総合技術センター 水産研究所	山口県水産研究センター
石川県水産総合センター	一般社団法人漁業情報サービスセンター (取りまとめ機関) 独立行政法人水産総合研究センター 日本海区水産研究所